

本書の構成・使い方

本書は、以下の手順で学習することをおすすめします。

STEP 1 まずは **EXAMPLE** を解き、解答・解説を確認しましょう。

STEP 2 **BASIC TRAINING** に取り組みましょう。
BASIC TRAINING は段階的にレベルアップして学習できるように構成していますので、一番最初の問題から取り組んでください。

STEP 3 別冊の **BASIC TRAINING** の解答解説を確認しましょう。
解説中の「**文構造のここに注目!**」の箇所は、英文の構造理解を深めるためのポイントですので、必ず確認するようにしましょう。
また、スラッシュ訳が付いている英文には音声も用意しています。音声を活用し、スラッシュリーディングの練習にも取り組んでください。

STEP 4 最後に **EXERCISE** で実践問題に取り組みましょう。

別冊には **EXERCISE** の解答解説も掲載しています。

STEP 3 → **STEP 4** の手順を再び踏み、学習を終わしましょう。

問2) ③

今度は2つの授業から参加したいものを選ぶ、というものだったね。設問では、**両方の授業の「共通点」が問われているよ。**

① Both classes will **be taught by school teachers** → 「学校の教員が教える」

② Both classes will **last more than one week** → 「1週間以上続く」

③ Students in both classes will **have a chance to speak** → 「話す機会あり」

④ Students in both classes will **submit some homework about lecture** → 「宿題提出」

①は Science Experiment Laboratory of the Instructor の項目に Ms. Moore (Guest Lecture) とあるので×。②はそれぞれ Date [日程] のところから判断して×。③は **Modern History Intensive Lecture** の最終文 **have a brief discussion about it** 「短いディスカッションを行います」の部分。Science Experiment Laboratory の最終文 **give a small presentation about it** 「それに関する簡単なプレゼンテーションを行う」の部分から、それぞれ「話す機会あり」と書えるので○。④は Modern History Intensive Lecture のほうに「宿題」に関する言及がないので×、となる。

●設問文・選択肢の訳

上の二つのクラスについて正しいものはどれか。

①どちらのクラスも学校の教員により教えられるだろう。

②どちらのクラスも1週間より長く続くだろう。

③どちらのクラスの学生にも話す機会があるだろう。

④どちらのクラスの学生も講義に関する何らかの宿題を提出するだろう。

●おまけ

あなたは高校の夏期講習の一つに参加することを計画しています。あなたは以下の二つの授業のうち一つに登録するつもりです。

現代史集中講義

日程：7月8日-12日

時間：午後1時-3時 (10分休憩)

講師：ミラー先生 (本校教員)

このコースでは、戦後の歴史について講義を行います。学生は戦後の国際関係について学ぶことで現代の世界についてよりよく理解することができます。最終日には、コースの教材と関わる映画を見て、それに関する短いディスカッションを行います。

科学実験室

日程：8月10日-14日

時間：午前10時-午後1時 (20分休憩)

講師：ムーア先生 (客員講師)

このコースでは、実習を通して高校で学んだ考え方に関する学生の理解を深めることが目的です。各授業の最後に、学生は実験に関するレポートを提出し、それに関する簡単なプレゼンテーションを行うことが求められます。

文構造のここに注目!

Science Experiment Laboratory ① **we aim to deepen students' understanding of the concepts** (they learned in high school) (through hands-on experiments).

このコースで、私たちは、学生の夏期講習で学んだ考え方の理解を深めることを目指しています。

・they learned in high school が concepts を修飾する形容詞節。うまく読めなかった人は、learned の目的語がないことから、concepts と they の間に目的格の関係代名詞が省略されていると考えてみよう。

各問題には **解答目安時間** を示していますが、あくまで参考として設定したものです。
学習段階や得意・不得意によって必要な時間は異なりますので、最初は時間を気にしすぎず、正確に読むことを優先してください。慣れてきたら、徐々に時間も意識して取り組みましょう。

目次

はじめに	3		
著者からのメッセージ	4		
本書の構成・使い方	6		
スラッシュ訳の音声のご利用方法	10		
第1講 語彙学習	11	第6講 展開を把握する 時系列問題とタイトルを選ぶ問題	99
column 語彙力と読解力の関係は？	14	column 共通テストに関するよくある質問②	122
column 単語はどうやって勉強したらよい？	25	 	
 		第7講 展開を把握する 具体から抽象の抽出	123
第2講 共通点と相違点	27	column 共通テスト攻略の鍵である『言い換え』とは？！	132
第3講 意見と事実	37	第8講 論説文1 パラグラフ内での展開にフォーカス	143
column そもそもなぜ「意見」と「事実」を区別するの？	53	column 速読が大事？精読が大事？	166
column 共通テストに関するよくある質問①	54	 	
 		第9講 論説文2 英文全体での展開にフォーカス	167
第4講 言語情報と非言語情報を結び付ける	55		
column グラフに関するさまざまな表現	72		
第5講 言語情報どうしを結び付ける	75		

別冊：BASIC TRAINING 解答解説
EXERCISE 解答解説

1 EXAMPLE

次の英文を読み、問いに答えなさい。

解答目安時間：3分

You are in a student group preparing a poster for a presentation contest. You have been using the following passage to create the poster.

A Brief History of Units of Length

Since ancient times, people have measured things. Measuring helps humans say how long, far, big, or heavy something is with some kind of accuracy. While weight and volume are important for the exchange of food, it can be argued that one of the most useful measurements is length because it is needed to calculate area, which helps in the exchange, protection, and taxation of property.

Measuring systems would often be based on or related to the human body. One of the earliest known measuring systems was the cubit, which was created around the 3rd millennium BC in Egypt and Mesopotamia. One cubit was the length of a man's forearm from the elbow to the tip of the middle finger, which according to one royal standard was 524 millimeters (mm). In addition, the old Roman foot (296 mm), which probably came from the Egyptians, was based on a human foot.

問1 For “accuracy”, which word can be a replaceable word?

- A) precision B) clarity
- C) reliability D) consistency

問2 For “property”, which word can be a replaceable word?

- A) currency B) capacity
- C) land D) calculation

▶▶ 解答と解説

問1) A

今回の問題では文中の **accuracy** 「正確さ／精度」と置き換えられるものを選ぶことが求められているね。たとえば、英文中の accuracy を選択肢の中では precision に書き換えることで内容一致問題が作られることもある。仮に英文が読めたとしても書き換えられた選択肢の単語がわからなければ正解できないわけだね。B) clarity 「明確さ」、C) reliability 「信頼性」、D) consistency 「一貫性」も覚えてしまおう。

●設問文／選択肢の訳

“accuracy” に置き換えられる単語はどれか？

- A) 精密さ B) 明確さ
- C) 信頼性 D) 一貫性

問2) C

答えはCだ。今回は文章の展開からここでの **property** がどのような単語で書き換えうるかを考えられるかがポイントだよ。英語学習者で property という単語を知っている人であっても「財産・資産」の意味で覚えていることが多い。実は **property** には「所有地・土地」の意味もあるんだ。ただ、仮にそれを知らなくても前にある **because it is needed to calculate area** 「長さは面積の計算に必要であるので」の部分からのつながりを考え、置き換えるのに最も適しているのは **land** だな、と考えることができるね。こうした「語句推測力」も語彙力を支える大切な力なのだということは知っておこう。またこうした学習を通じて単語の意味は最終的に「どういう状況で使われているか」によって確定するのだということも意識しよう。

●設問文／選択肢の訳

“property” に置き換えられる単語はどれか？

- A) 通貨 B) 能力
- C) 土地 D) 計算



この講では「読解の前提としての語彙力」にフォーカスして学習をしてもらっているけれど、実際、読解に語彙力というのはどんな風に関わっているか知っているかな。「英文中の語彙をどの程度知っているか」は「語彙力バー率」とも呼ばれ、今回の文章を例に挙げるならば概ね以下のような関係性があると言えるんだ。リストを確認し、自分の語彙力バー率がどのくらいだったかを把握してみよう。語彙力バー率が90%、つまり9割の語彙がわかっているとしても読解に困難を生じる可能性があるのだという「求められるレベルの高さ」を意識してほしい。単語の勉強からは逃れられないよ。どんどん勉強していこうね。

★以下のリストに「知らない・うろ覚えの単語」が、

5個 : 97%の語彙力バー率 →読解に支障のない語彙力

8個 : 95%の語彙力バー率 →やや読みにくさを感じる可能性がある語彙力

15個 : 90%の語彙力バー率 →読解に困難を生じる可能性がある語彙力

大学受験基礎レベル (CEFR A2-level words)

☐ ancient ☐ length ☐ elbow ☐ tip

大学受験標準レベル (CEFR B1-level words)

☐ measure(d) ☐ accuracy ☐ volume ☐ exchange ☐ argued
☐ calculate ☐ protection ☐ taxation ☐ property
☐ measuring system(s)
☐ relate(d) ☐ millennium ☐ Mesopotamia ☐ standard
☐ millimeters (mm) ☐ probably

大学受験難関レベル (CEFR B2-level words)

☐ cubit ☐ forearm

知らない単語や意味が思い出せない単語は辞書を使うなどして調べてみよう！

1 BASIC TRAINING

問1 次の英文を訳しなさい。

- (1) I love to read a good book before bedtime.
- (2) I need to book a table at the restaurant for our anniversary dinner.
- (3) Her latest novel became a bestseller within weeks of its release.
- (4) The scientist's innovative approach to the problem was truly novel and inventive.
- (5) The artist's attention to detail and precision in her work was truly fine.
- (6) The police officer issued a fine for parking in a no-parking zone.
- (7) She's going to leave for her trip to Spain next week.
- (8) Remember to leave your shoes by the door.
- (9) Children jumped into the pile of leaves with excitement.
- (10) After he left the keys on the table, he told her to leave them untouched.
- (11) When she left her house this morning, she mistakenly turned left instead of right.
- (12) During his short leave from the company, he enjoyed watching the leaves change colors in his backyard.

別冊 目次

基本文型のパターン	2
品詞と文型	3
第1講 語彙学習	
BASICTRAINING 解答解説	4
EXERCISE 解答解説	14
第2講 共通点と相違点	
BASICTRAINING 解答解説	26
EXERCISE 解答解説	34
第3講 意見と事実	
BASICTRAINING 解答解説	37
EXERCISE 解答解説	45
第4講 言語情報と非言語情報を結び付ける	
BASICTRAINING 解答解説	51
EXERCISE 解答解説	58
第5講 言語情報どうしを結び付ける	
BASICTRAINING 解答解説	62
EXERCISE 解答解説	72
第6講 展開を把握する 時系列問題とタイトルを選ぶ問題	
BASICTRAINING 解答解説	83
EXERCISE 解答解説	96
第7講 展開を把握する 具体から抽象の抽出	
BASICTRAINING 解答解説	108
EXERCISE 解答解説	119
第8講 論説文1 パラグラフ内での展開にフォーカス	
BASICTRAINING 解答解説	132
EXERCISE 解答解説	151
第9講 論説文2 英文全体での展開にフォーカス	
BASICTRAINING 解答解説	163
EXERCISE 解答解説	179



文構造のここに注目！

1パラ 2文目

Measuring **helps** humans **say** [how long, far, big, or heavy **something is**] <with some kind of accuracy>.

測定することは、あるものがどれくらい長いのか、遠いのか、大きいのか、重いのかを、ある種の正確さをもって人が言うのに役立つ。

・ helps humans say ... は、helps O (to) do 「O が…するのに役立つ」を用いた表現で、to は省略されている。

・ how long, far, big, or heavy something is が、say の目的語になっている。with some kind of accuracy は、say を修飾している。say 以下の構造を、say O with ... 「O を…をもって言う」のようにシンプルにとらえると読み易くなるよ。

・ with some kind of accuracy は、「ある種の正確さをもって、ある種の正確さで」という意味。一般的に、with accuracy は「正確さをもって、正確に」という意味で、accurately に言い換えることができる表現。

2パラ 3文目

One cubit **was** [the length of a man's forearm (from the elbow to the tip of the middle finger)], (which <according to one royal standard> **was** 524 millimeters (mm)).

1 キュビットは、人の前腕の長さ、つまり肘から中指の先までの長さであり、それはある王の基準によれば 524 ミリメートル(mm) であった。

・ a man's forearm 「人の前腕」を from the elbow to the tip of the middle finger 「肘から中指の先まで」が説明している。from A to B は「A から B まで」とひとカタマリでとらえよう。

・ which ... was 524 mm 「それは 524mm だった」の...の部分に according

to one royal standard 「ある王の基準によれば」という前置詞のカタマリが入り込んだ形になっている。前置詞句はカッコで囲むなどしていったん英文から取り外してみると、英文の構造がすっきり見えるよ。

4パラ 1文目

The **use** (of the human body <as a standard> (from which to develop a measuring system)) **was** not **unique** <to western cultures>.

測定体系を発展させるための基準として人間の身体を用いることは、西洋文化に特有のものではなかった。

・ The use of the human body as a standard は、The use of A as B 「A を B として用いること」にあてはめると読み易いよ。

・ from which to develop a measuring system は、standard を修飾するカタマリ。<前置詞 which to do ...> は「…するための」という意味になる関係代名詞を用いた表現。develop O from A 「O を A から発展させる」の from A が from which になっている。

7パラ 2文目

<However>, <now that international online shopping **has** spread <around the world>, > **we** all **need** [to know a little <about other countries' measuring systems>] <so that we **know** [how much, or how little, (of something) **we are buying**] >.

しかし、今では国際的なオンラインショッピングが世界中に広まっているので、私たちは皆、どれくらい多い量の何かを、あるいはどれくらい少ない量の何かを自分が買っているのかを知るために、他の国々の測定体系について少しは知っておく必要がある。

- ・ now that SV ... は、「今では…なので」という意味の接続詞を用いた表現。
- ・ so that SV ... は、「…するために」という目的を表す表現。
- ・ how much, or how little, of something では、how much と how little が or によって並列されていて、ともに of something とつながっている。

語句リスト

大学受験基礎レベル (CEFR A2-level words)

- ☐ standard 「標準」
- ☐ alternative 「代替手段／代わりの／代替の」
- ☐ traditional 「伝統的な」
- ☐ scientific 「科学の／科学的な」
- ☐ medical 「医療の／医学の」
- ☐ industrial 「産業の／工業の」

大学受験標準レベル (CEFR B1-level words)

- ☐ sailing 「航海」
- ☐ best-known 「最もよく知られている」
- ☐ depth 「深さ」
- ☐ extend 「広げる／伸ばす／延長する」
- ☐ width 「幅」

大学受験難関レベル (CEFR B2-level words)

- ☐ accurate 「正確な」
- ☐ adopt 「採用する／養子にする」
- ☐ dominant 「支配的な／優勢な」
- ☐ profession 「職業（専門職）」
- ☐ commercial 「商業の／営利的な」

BASIC TRAINING 語句リスト

大学受験基礎レベル (CEFR A2-level words)

- ☐ unit 「単位」
- ☐ length 「長さ」
- ☐ measurement 「測定」
- ☐ inch 「インチ（長さの単位）」
- ☐ yard 「ヤード（長さの単位）」
- ☐ tip 「先端」

大学受験標準レベル (CEFR B1-level words)

- ☐ originate 「起源をもつ／由来する」
- ☐ adjustment 「調整」
- ☐ standardize 「標準化する」
- ☐ define 「定義する」
- ☐ describe 「説明する／描写する」

大学受験難関レベル (CEFR B2-level words)

- ☐ occupation 「職業」
- ☐ respectively 「それぞれに」
- ☐ outstretch 「(手などを) 伸ばす」
- ☐ unique 「独特の／唯一の／特有の」
- ☐ distribute 「分配する」

2 BASIC TRAINING 解答と解説

問1) ②

最初にリード文をチェックしてみよう。

「大学のカフェテリア」「2つのランチメニュー」「どちらかを選ぶ」といった情報がつかめたかな？

次に設問をチェックした上で、本文を読みながら各選択肢の検討に入っていくよ。

- ① You get **both meat and fish**. → 「肉と魚両方」
- ② You can have **a salad with your main dish**. → 「メインディッシュに加えてサラダ」
- ③ You can have lunch at **a special price depending on the time**. → 「時間によって特別料金」
- ④ You **don't have to worry about the lunch being sold out**. → 「売り切れる心配なし」

まず、①は「肉と魚の両方」とあるので、メニューの内容を見ればよいとわかるね。Aランチには Chicken Steak, Bランチには Grilled Salmon とあるけれど、肉と魚両方を食べられるとは読み取れないので×だ。②はAランチには **Caesar Salad** とあり、Bランチには **Salad can be added for an extra \$1** とあることから、これが正解になるね。③については、Aランチの Price: \$12 (From 12:00 to 1:00, just \$11) 「価格 12 ドル…たった 11 ドル」が当てはまるけれど、Bランチには時間によって特別料金になるということは書かれていない。④はAランチに Quantity limited. First come, first served. 「数量限定。早い者勝ち」とあることから、×だ。

スムーズに選択肢の正誤を見極めることができたかな？もちろんスピードも重要だけど、まずは正確に選択肢を見極める力を身につけていこう。

●設問文／選択肢の訳

両方の特別ランチについて正しいものはどれか。

- ①肉と魚の両方を食べられる。
- ②メインディッシュに加えてサラダも食べられる。
- ③時間によっては特別価格でランチが食べられる。
- ④ランチが売り切れになる心配をする必要はない。

●全訳

あなたは昼食を取ろうと大学のカフェテリアを訪れます。あなたは2種類の特別ランチを見つけ、どちらを注文するかを決めようとしています。

A ランチ

- ・価格：12 ドル（12:00 から 1:00 まではたった 11 ドル）
- ・数量限定。早い者勝ち
- ・チキンステーキ、ガーリックライス、シーザーサラダ、飲み物

B ランチ

- ・価格：10 ドル（1 ドル追加でサラダが付けられます）
- ・提供数に限りはありません
- ・グリルサーモン、サワードウブレッド、野菜スープ

問2) ③

今度は2つの授業から参加したいものを選ぶ、というものだったね。設問では、両方の授業の「共通点」が問われているよ。

- ① Both classes will **be taught by school teachers**. → 「学校の教員が教える」
 ② Both classes will **last more than one week**. → 「1週間以上続く」
 ③ Students in both classes will **have a chance to speak**. → 「話す機会あり」
 ④ Students in both classes will **submit some homework about lecture**. → 「宿題提出」

①は Science Experiment Laboratory の Instructor の項目に Ms. Moore (Guest lecturer) とあるので×, ②はそれぞれ Date 「日程」のところから判断して×, ③は **Modern History Intensive Lecture** の最終文 **have a brief discussion about it** 「短いディスカッションを行います」の部分, **Science Experiment Laboratory** の最終文 **give a small presentation about it** 「それに関する簡単なプレゼンテーションを行う」の部分から, それぞれ「話す機会あり」と言えるので○, ④は Modern History Intensive Lecture のほうに「宿題」に関する言及がないので×, となる。

●設問文／選択肢の訳

上の二つのクラスについて正しいものはどれか。

- ①どちらのクラスも学校の教員により教えられるだろう。
 ②どちらのクラスも1週間より長く続くだろう。
 ③どちらのクラスの学生にも話す機会があるだろう。
 ④どちらのクラスの学生も講義に関する何らかの宿題を提出するだろう。

●全訳

あなたは高校の夏期講習の一つに参加することを計画しています。あなたは以下の二つの授業のうち一つに登録するつもりです。

現代史集中講義

日程：7月8日-12日

時間：午後1時-3時（10分休憩）

講師：ミラー先生（本校教員）

このコースでは、戦後の歴史について講義を行います。学生は戦後の国際関係について学ぶことで現代の世界についてよりよく理解することができるでしょう。最終日には、コースの教材と関わる映画を見て、それに関する短いディスカッションを行います。

科学実験室

日程：8月10日-14日

時間：午前10時-午後1時（20分休憩）

講師：ムーア先生（客員講師）

このコースでは、実習を通して高校で学んだ考え方に関する学生の理解を深めることが目的です。各授業の最後に、学生は実験に関するレポートを提出し、それに関する簡単なプレゼンテーションを行うことが求められます。



文構造のここに注目！

Science Experiment Laboratory 1文目

〈In this course〉, we ^Saim ^V[to ^Odeepen students' understanding (of the concepts) (they ^Slearned ^Vin high school) (through hands-on experiments)].

このコースで、私たちは、学生が高校で学んだ考え方についての理解を、
 実習を通して深めることを目的としている。

・ they learned in high school が concepts を修飾する形容詞節。うまく読めなかった人は、learned の目的語がないことから、concepts と they の間に目的格の関係代名詞が省略されていると考えてみよう。

・ through hands-on experiments は deepen を修飾する前置詞句。